

株主通信

Vol. **20** | 2013年3月期 第2四半期のご報告
2012年4月1日～2012年9月30日

New Innovative Wave

「これからの医療」のために。



株式会社 ウイン・インターナショナル

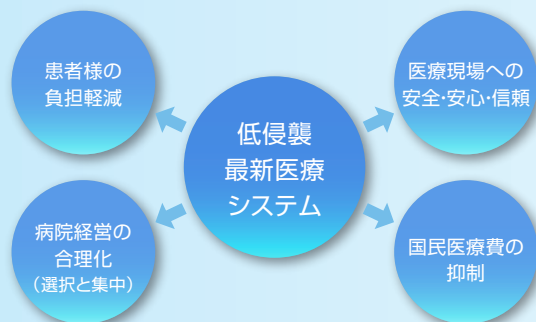
JASDAQ 証券コード: 2744



私たちは、「低侵襲最新医療システム」を提供し、
新しい医療のあり方を提案します。

私たちウイン・インターナショナルは、“低侵襲治療”を軸に、高度医療商社として、医師、医療機関、患者様、メーカーに対して総合的なサービス、提案を行い、医療分野の発展に継続的に寄与し、国民の健康及びそれを支える医療に貢献することを目指しております。「低侵襲最新医療システム」とは、当社の目指す方向性とこうした総合力を表現しております。

現在、わが国では医療財源をはじめとした医療に関する様々な問題が存在しております。将来にわたる国民生活の安心・安全を確保するためにも、これらの問題を解決し、社会情勢の変化による新たなニーズに対応した“あるべき医療”の実現に向け、各医療関係者のみならず、医療を受ける国民ひとりひとりが、それぞれの立場で取り組んでいく必要があります。当社は「低侵襲最新医療システム」を推進し、“あるべき医療”の実現に向け、皆様と共に歩むベストパートナーを目指します。



第30期上期の営業成績のご報告

償還改定年であるが、売上高は過去最高を記録した前期水準を確保

売上高 **15,536** 百万円
前年同期比 $\triangle 1.0\%$

経常利益 **659** 百万円
前年同期比 $\triangle 13.6\%$

四半期純利益 **401** 百万円
前年同期比 $\triangle 9.3\%$

財務ハイライト

(百万円)

	2011/9 前第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	2012/3 前期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2012/9 当第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
売上高	15,685	32,957	15,536
営業利益	759	1,648	653
経常利益	763	1,657	659
四半期(当期)純利益	442	955	401
総資産	15,001	16,595	15,670
純資産	6,739	7,259	7,309
自己資本比率(%)	44.9	43.7	46.6
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	36.24	78.23	32.92
1株当たり配当金(円)	—	28.0	—



株式会社ウイン・インターナショナル
代表取締役社長 秋沢 英海

着実な事業活動で収益性を高め、 業績向上へ。 次なる成長ステージを目指します。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに2013年3月期(第30期)第2四半期株主通信をお届けいたします。

第30期は2年に1度の診療報酬改定年にあたり、医療材料の償還価格が引き下げられたため、当社の事業環境も厳しさを増すなかでのスタートとなりました。

しかしながら当社では、改定内容の予測に基づいて当上期の戦略や施策を前期より打ち出したことにより、上期としては過去最高を記録した前年同期並みの売上高を確保することができました。

本年11月にはテスコ株式会社(宮城県)との経営統合を発表し、環境の変化に対応する体制構築を進めております。今後、業界再編が予想されるなか、株式会社ウイン・インターナショナルの存在感をますます強めてまいります。

第30期上期の市場環境及び業績についてお聞かせください。

2012年4月の償還価格改定では、医療材料の償還価格が前回到続いて引き下げられました。

今回の償還価格改定による影響は、2012年3月期(第29期)売上高を基準とした場合、第30期(通年)で約マイナス9%と予想しておりました。

しかし、既存顧客の深耕や新規顧客の獲得が進んだことにより、

マイナス分をほぼ埋めることができました。当上期の売上高は155億36百万円となり、過去最高売上を記録した前年同期と同じ水準を確保することができました。利益面では戦略的投資である新規出張所の開設や成長分野のDMS(糖尿病関連)の人員強化に伴う人件費の増加、テスコ社との統合関連費用等の影響で、営業利益6億53百万円(前年同期比13.9%減)、経常利益6億59百万円(前年同期比13.6%減)となりました。

事業分野ごとの業績はどのようになっていますか。

主力のPCI（虚血性心疾患関連）では、DES（薬剤溶出ステント）やPTCAカテーテル、IVUS（血管内超音波診断装置）などで販売数量を伸ばしましたが、売上高はやや減少しました。

他分野においても、販売数量は全般的に伸びを見せ、特にPPI（末梢血管疾患関連）においてはPPI(PTA)カテーテル、CRS（心臓律動管理関連）においては、ICD／CRTD（植込み型除細動器等）やアブレーション（心筋焼灼術用）カテーテルの販売数量が顕著な伸びを見せました。売上高においては、CRS、脳外科関連において伸びが大きくなっています。

また、注力しているDMSは販売数量、売上高ともに非常に好調です。

下期に向けて、業績伸長のためにどのような施策をとられるのでしょうか。

上期に引き続き、下期には既存顧客との取引の拡大、新規開拓営業を強化することで、売上高・利益の上積みを図ることができると考えています。

また下期には、MRI（磁気共鳴診断装置）に対応したペースメーカーの市場投入、限定発売されていた太ももの動脈が詰まる「末梢動脈疾患」を治療するDESなどがフルリリースされる予定です。これらは、今までになかった製品であり、市場の注目を集めています。また、当社の主要取扱製品であるDESにおいても新製品が発売される予定です。新製品の発売はメーカー間の競争を生み、価格交渉や成功報酬プログラムの導入が進めやすくなります。上期に顧客医療機関との償還改定による価格交渉が終結しており、下期はメーカーときめ細かく価格交渉を行って、収益性を高めてまいります。

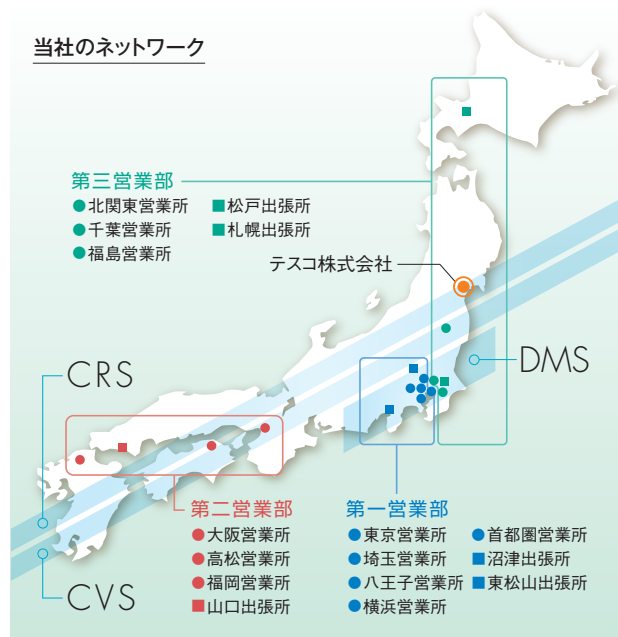
拠点整備とエリア戦略についてはどのように進めておられますか。

現在、11営業所5出張所を設けて全国を網羅する体制整備を進めています。本年2月に開設した山口出張所、4月に開設した札幌出張所がそれぞれ好調で、上期業績に貢献しております。

エリア戦略としては、首都圏での圧倒的な強みを発揮しながら、栃木・群馬・茨城の北関東のエリア開拓を推進いたしました。

また、積極的な営業活動を行ってきた中四国では当社の存在感がより高まっており、引き続き注力してまいります。今後は経営統合を発表したテスコ社と連携し、宮城・山形・福島以南をしっかりとカバーする体制を構築し、東北エリアの強化に努めてまいります。

当社のネットワーク



テスコ株式会社との経営統合について、その内容と狙いをお聞かせください。

本年11月1日のリリースでお知らせしましたとおり、来期に共同持株会社を設立してテスコ社と経営統合することにいたしました。

同社は東北地区の循環器分野においてトップクラスの医療機器商社です。また、高い利益率を誇り、財務体質も優良な企業です。同社との経営統合は、質を維持しながら企業規模の拡大を可能といたします。また、両社の主力事業である循環器分野のシェアを拡大し、共同仕入れ等のスケールメリットを追求していきます。本経営統合によって、東北地方の営業基盤が強化されますが、これは全国体制の構築を大きく進めるものとなると考えております。

次なる成長ステージに向けたプランなどお聞かせください。

創業以来、当社は低侵襲治療領域に特化した専門性の高い医療機器商社として成長を続けてまいりました。

当社が属する医療機器販売業界では世代交代の時期を迎え、償還価格が引き下げられるなか、経営方針・戦略の転換を余儀なくされる企業が増え、業界再編が加速することが予想されます。

このたび、テスコ社との経営統合にあたって共同持株会社という形態を選択いたしました。これは、今後の業界再編を視野に入れ、当社の理念や戦略に賛同する企業が参画しやすいようにと考えたためです。

今後は経営環境の変化に対応し、M&Aを推進してまいります。ただし、単なる規模の拡大を追求するのではなく、人の命に関わる医療ビジネスで持つべき倫理観や、公正さといった価値観、安全・安心・信頼の提供をするという姿勢は堅持してまいります。



その上で、新たな価値を創造し、医療の進化に継続的に寄与し、社会に貢献していく企業を目指します。

最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社は今期、第30期を迎えました。これも株主の皆様にご温かく見守っていただきご支援を賜ることができたためであり、心より御礼申し上げます。当社を取り巻く経営環境が厳しさを増すなかにあって、当社は、株主の皆様のご支援に報いるべく配当性向35%以上を堅持しております。当期末もその水準での配当を予定しております。

来期の共同持株会社の設立を控え、つねに財務体質の健全性を維持しながら、新体制の足固めに努めてまいります。

今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

Point 売上高

医療機器販売事業(消耗品関連)では、本年4月の償還価格の引き下げにより、前期売上高をベースとした場合、マイナス9%と試算しておりましたが、新規顧客の獲得を目指すとともに、既存顧客に対しても患者数の増加策を提案し、前年同期比1.7%の減少に留めることができました。また、医療施設支援事業では消耗品関連の営業部門との連携を強化し、売上高は前年同期比72.2%増と大幅に伸長しました。その結果、売上高は全体で前年同期比1.0%の減少となりましたが、過去最高だった前年同期売上と同じ水準を確保いたしました。

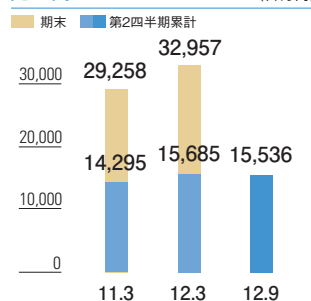
Point 営業利益

営業利益は新規出張所(本年2月山口、本年4月札幌)の開設や成長分野のDMSの人員強化に伴う人件費の増加、テスコ社との統合関連費用等の影響で前年同期比13.9%の減少となりました。これらの費用は、当社が次のステージに行くための戦略的投資であり、今後大きな成果を期待されるものです。

	当第2四半期累計 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前第2四半期累計 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	増減 (△印は減)
● 売上高	15,536	15,685	△149
売上原価	13,522	13,618	
売上総利益	2,013	2,067	
販売費及び一般管理費	1,360	1,308	
● 営業利益	653	759	△105
営業外収益	6	5	
営業外費用	0	1	
経常利益	659	763	△104
特別利益	—	0	
特別損失	0	0	
税引前四半期純利益	659	763	△103
法人税等	257	320	
四半期純利益	401	442	△41

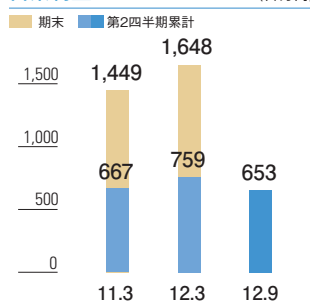
売上高

(百万円)



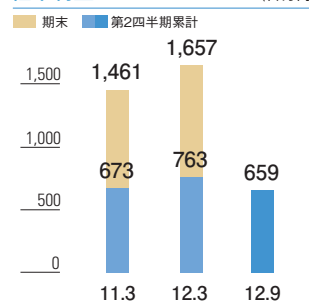
営業利益

(百万円)



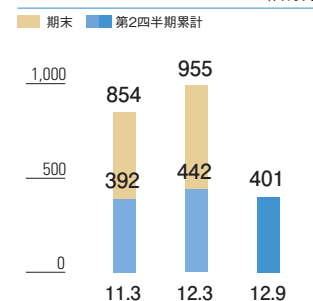
経常利益

(百万円)



四半期純利益

(百万円)



四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在	増減 (△印は減)
資産の部			
流動資産	13,414	14,865	△1,451
現金及び預金	3,549	3,980	
受取手形	1,469	1,756	
売掛金	7,354	8,077	
商品	730	696	
その他	310	354	
固定資産	2,255	1,729	526
有形固定資産	1,183	1,196	
無形固定資産	214	122	
投資その他の資産	857	409	
資産合計	15,670	16,595	△925
負債の部			
流動負債	8,154	9,146	△991
支払手形	2,291	2,405	
買掛金	5,316	5,910	
その他	546	830	
固定負債	206	189	16
負債合計	8,360	9,335	△974
純資産の部			
株主資本	7,290	7,230	59
資本金	330	330	
資本剰余金	196	196	
利益剰余金	6,824	6,764	
自己株式	△61	△61	
評価・換算差額等	18	28	△10
純資産合計	7,309	7,259	49
負債純資産合計	15,670	16,595	△925

Point 資産合計

売上高の減少に伴って、受取手形や売掛金が減少したことなどにより、前期末に比べ、925百万円減少となりました。

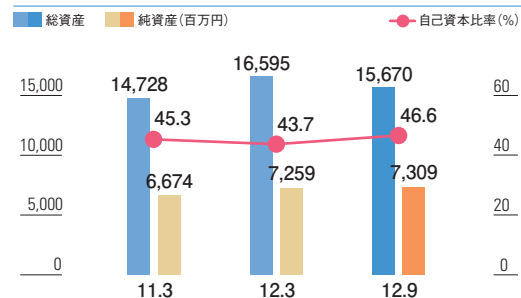
Point 負債合計

仕入高の減少に伴って、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末に比べ、974百万円減少となりました。
また、今期銀行借入を完済し、有利子負債はゼロとなり、完全無借金経営となりました。

Point 純資産合計

配当金などで減少したものの、四半期純利益によって、前期末に比べ、49百万円増加となりました。

総資産/純資産/自己資本比率



四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

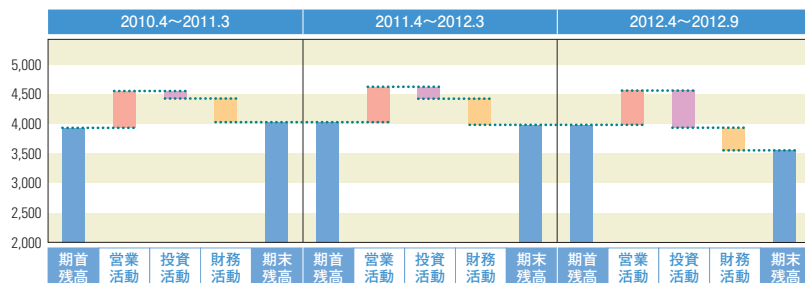
	当第2四半期累計 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前第2四半期累計 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	増減 (△印は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	579	565	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△628	△107	△521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△382	△408	25
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額	△431	50	△481
現金及び現金同等物の期首残高	3,980	4,026	△45
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,549	4,076	△527

Point 投資活動による キャッシュ・フロー

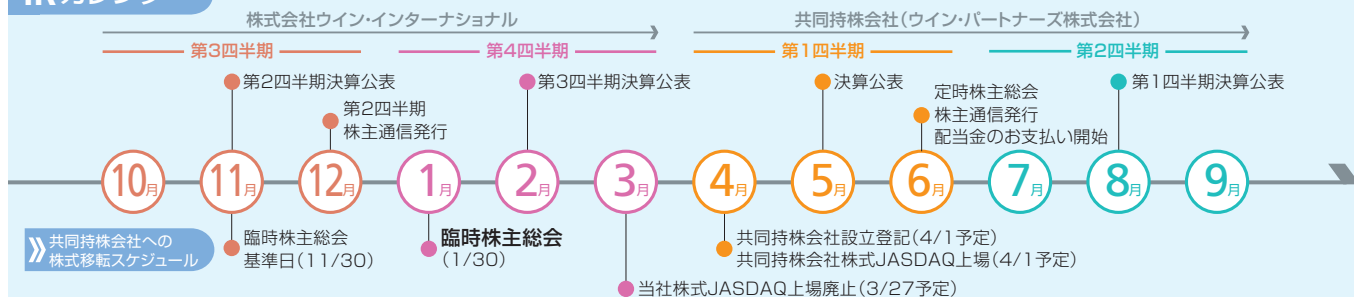
経営統合を発表したテスコ社の株式の取得等を行い、前年同期比で521百万円の減少となりました。

グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)



IR カレンダー



■ 会社概要 (2012年9月30日現在)

社 名 株式会社ウイン・インターナショナル
 英文社名 WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
 事業内容 医療機器販売事業
 本社 東京都台東区台東四丁目24番8号
 主な拠点 東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡
 設立年月日 1983年6月1日
 資本金 330,625千円
 従業員数 275名

■ 取締役、監査役、会計監査人 (2012年9月30日現在)

代表取締役社長 秋沢 英海
 取締役 三田上 浩美
 取締役 村田 裕可
 取締役 間島 進吾
 常勤監査役 卜部 容志孝
 監査役 神田 安積
 監査役 菊地 康夫
 補欠監査役 大友 良浩
 会計監査人 有限責任あずさ監査法人

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 期末配当金 3月31日
 公告方法 電子公告 URL <http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html>
 ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 (特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 株式の状況 (2012年9月30日現在)

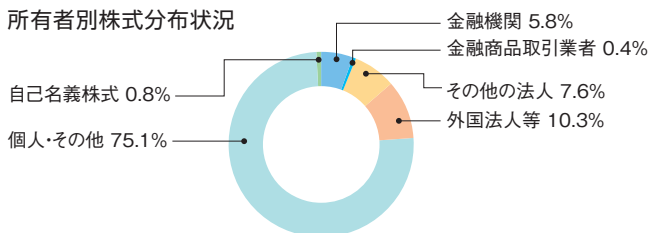
発行可能株式総数 47,000,000株
 発行済株式の総数 12,303,400株
 株主数 2,751名

大株主(上位5名)

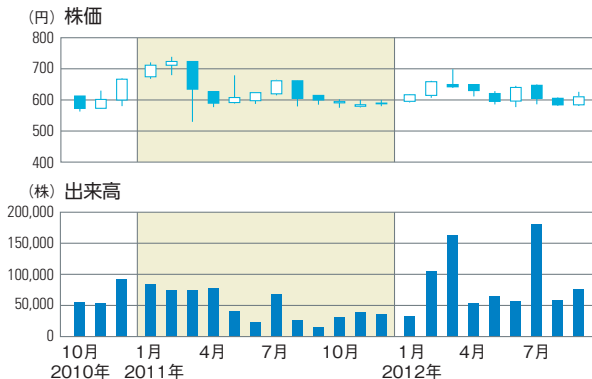
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
秋沢 英海	4,107,300	33.66
ピーピーエイチフォーフィデリティロープライズストック ファンド(プリンシパルオールセクターサポートフォリオ) (常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,230,300	10.08
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.56
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.28
古川 國久	363,000	2.97

(注) 持株比率は自己株式(100,377株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

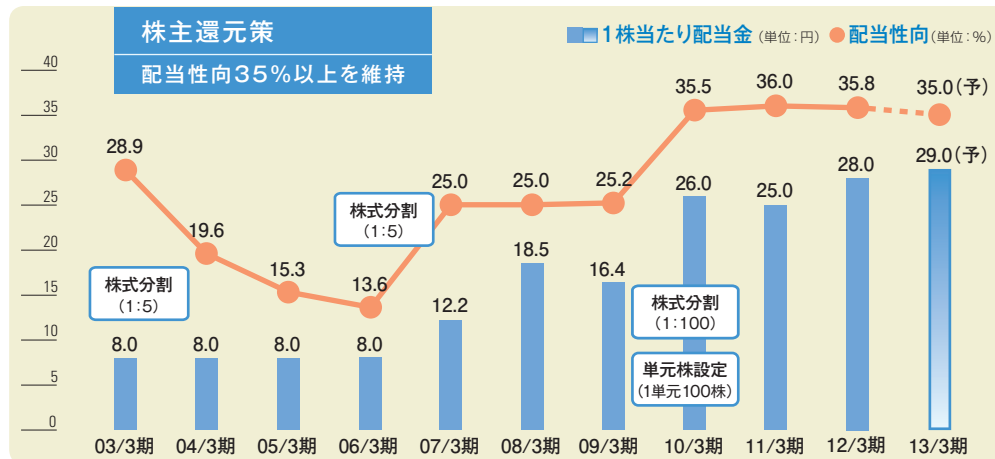


株価及び出来高の推移



配当についての基本方針

当社は、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることとし、期末に一括配当として、剰余金の配当を行うことを基本方針としております。



Point 配当

2013年3月期の期末配当につきましては1株当たり29円(配当性向35.0%)を計画しております。

払渡期間経過後の配当金のお取り扱いについて

払渡期間経過後の「配当金領収証」をお持ちの方は、「配当金領収証」の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-232-711(通話料無料)

(同取次窓口) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

配当金のお受け取りについて

配当金の受け取り方法を「配当金領収証」から銀行などの預金口座、ゆうちょ銀行の貯金口座または証券会社の総合口座への振込に変更をご希望される方は、下記までお問い合わせください。

お取引の証券会社で株式を管理されている方	お取引の証券会社へ、お問い合わせください。
当社が開設する特別口座で株式を管理されている方	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (電話：0120-232-711 通話料無料) へお問い合わせください。

住所などの変更手続きについて

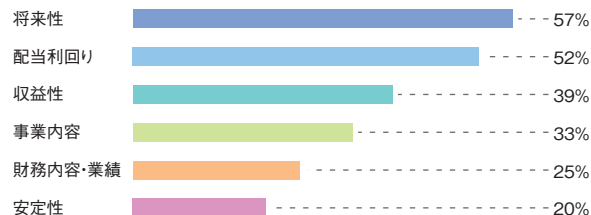
住所、氏名、配当金の振込口座などの変更は、お取引の証券会社にお申し出ください。

株主通信 Vol.19の アンケート結果

アンケート調査に多くのご回答と温かいメッセージをいただき、ありがとうございました。
アンケートの結果を下記に掲載させていただきますのでご参照ください。

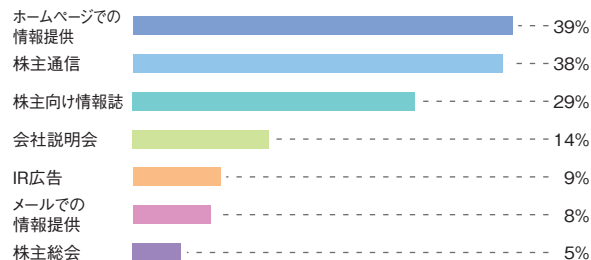
あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答 上位6項目)



あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答 上位7項目)



株主の皆様からのご意見

**会社の安全性、事業内容に対して
株価が低いように思う。(70歳代・男性)**

A 貴重なご意見、誠にありがとうございます。当社事業である医療機器販売業は一般的にはあまり知られておらず、IR説明会等にご参加いただいた方からは、「初めて知った」という声とともに「医療にとって必要不可欠な存在である」等のお声を度々頂戴いたします。今後とも、当社事業、当社が医療に果たす役割について広く認知されるよう積極的なIR・PR活動を行ってまいります。

今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただいております。
なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからもご回答いただけます。
お手数ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。
特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたは当社をどこでお知りになりましたか。

- ①TV ②新聞 ③会社四季報・日経会社情報 ④経済誌・投資情報誌
⑤アナリストレポート ⑥証券会社の紹介 ⑦インターネット ⑧当社社員・取引先
⑨イベント ⑩知人の紹介 ⑪今回初めて知った ⑫その他 ()

問2 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか(いくつでも)。

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫株主優待 ⑬証券会社の勧め ⑭その他 ()

問3 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

- ①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問4 ここからは当社の株主通信(報告書)についてお聞きします。どの程度読んでいただけましたか。

- ①全てのページをしっかりと読んだ ②関心のあるページを読んだ
③ざっと全体に目を通した ④ほとんど読んでいない

問5 どの掲載内容を中心にご覧になりましたか(いくつでも)。

- ①事業の内容 ②経営者メッセージ ③業績指標をグラフや表形式にした財務ハイライト
④業績(実績)に関する説明 ⑤次期の業績見通しについての説明
⑥製品、サービスに関する情報 ⑦社会貢献活動等のCSR関係情報 ⑧財務諸表
⑨大株主や株主構成等の株式関係情報 ⑩配当等株主還元の情報 ⑪株主メモ
⑫その他 () ⑬特になし

問6 掲載内容についてどうお考えですか。

- ①分かりやすく掲載内容も充分である ②分かりやすいが掲載内容をもっと充実すべき
③掲載内容は充分だが分かりにくい ④分かりやすさも掲載内容も平均水準である
⑤分かりにくく掲載内容も不十分である

問7 今後、充実を希望する情報をお選びください(3つまで)。

- ①事業の内容や特徴 ②業績(実績)に関する説明 ③次期の業績見通しについての説明
④製品・サービスに関する情報 ⑤社会貢献活動等のCSR関係情報
⑥株主アンケート結果報告 ⑦その他 ()

問8 財務諸表の掲載について、どのようにお考えですか。

- ①有益 ②コメント・グラフも掲載して欲しい ③グラフ化したもので充分 ④掲載の必要なし

問9 前回の株主通信(報告書)と比較していかがでしたか。

- ①良くなっている ②変わらない ③前回の方が良かった ④前回のものを見ていない

問10 発行頻度はいかがですか。

- ①現状で充分 ②もっと増やしてほしい ③もっと少なくてもよい

その他当社に対するご意見をお聞かせください。

アンケートはインターネットから
ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。



郵便はがき

1 1 0 8 7 9 0

220

料金受取人払郵便

上野局承認

7167

差出有効期間
平成25年3月
31日まで

切手はいりません

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル
総務部 行



キ
リ
ト
リ
線

性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年 齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの 都道府県	
ご 職 業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1~2年未満 <input type="checkbox"/> 2~5年未満 <input type="checkbox"/> 5~10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索 



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本誌が
お手元に到着してから約2ヶ月
間です。

インターネットでご回答いただいた方
の中から抽選で贈謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



*本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) *ご回答内容は統計資料としてのみ使用させて
いただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

 株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号
TEL.03-5688-0878

 <http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい植物油
インキを使用して印刷しています。



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。